

第 **201** 回  
**定時株主総会**

2023年6月23日(金)

古河電気工業株式会社



# 議事進行

1. 開会

2. 報告事項の報告

3. 議案の上程

4. 質疑応答

5. 議案の採決

6. 閉会

# 議決権数の報告

## 第1号

**第201期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)  
事業報告、連結計算書類ならびに  
会計監査人および監査役会の連結計算書類の  
監査結果報告の件**

## 第2号

**第201期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)  
計算書類報告の件**

# 当期における 主な取組みとその成果

# 当期における主な取組みとその成果

## 当期の主な取組み

① 資本効率重視による  
既存事業の収益最大化

② 開発力・提案力の強化  
による新事業創出に  
向けた基盤整備

③ ESG経営の基盤強化



# 当期における主な取組みとその成果

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

- 資本効率性を意識した  
経営管理の推進
- 事業ポートフォリオの  
見直し



# 当期における主な取組みとその成果

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

### ■ 情報通信ソリューション事業

- ▶ 高付加価値製品の拡販
- ▶ 工場生産性の改善





# 当期における主な取組みとその成果

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

### ■ 自動車部品事業

- ▶ コスト競争力、変化に強い  
生産・供給体制の確立を推進
- ▶ 原価低減の取組み



# 当期における主な取組みとその成果

## ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

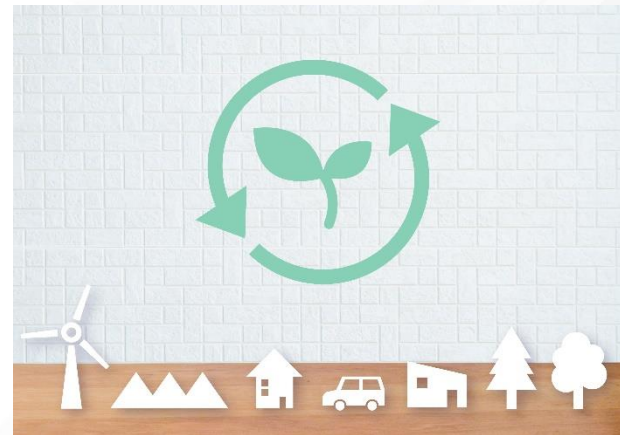
- **カーボンニュートラルの  
実現に貢献する  
新事業創出**
  - ▶ **グリーンLPガスの  
合成技術の開発を推進**



# 当期における主な取組みとその成果

## ③ ESG経営の基盤強化

- 「古河電工グループ  
環境目標2030」
  - ▶ 脱炭素社会への貢献
  - ▶ 水・資源循環型社会への貢献



達成の取組みを推進

# 当期における主な取組みとその成果

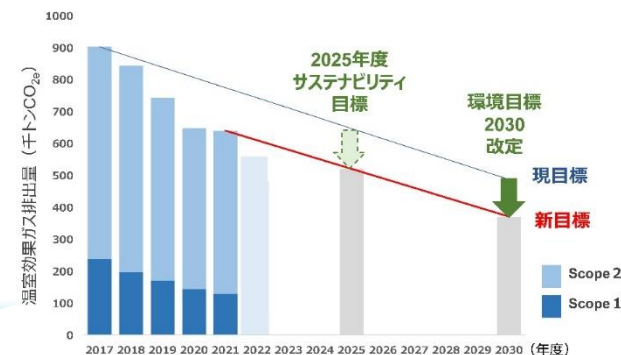
## ③ ESG経営の基盤強化

### ■ カーボンニュートラル実現への取組みを加速

#### ▶ 環境目標2030

温室効果ガス排出量削減率  
より厳しい目標値に改定

グループ全体の温室効果ガス排出量 (Scope1、2)



## 改定後の目標値の達成を目指す

# 当期における主な取組みとその成果

## ③ ESG経営の基盤強化

- 「人材・組織実行力の強化」
  - ▶ 従業員を対象とした  
人材・組織実行力調査を実施



活動計画に反映

# 当期における主な取組みとその成果

## ③ ESG経営の基盤強化

### ■ 「人権・労働慣行」

- ▶ 当社グループの管理職対象  
の人権に関する教育



人権デューディリジェンスの一環として実施

# 当期における主な取組みとその成果

## 当期の業績（売上）




- 北米での光ファイバ等の増収
- ワイヤハーネス等の自動車部品の増収
- 為替や銅地金価格高騰の影響



## グループ全体の売上増加

# 当期における主な取組みとその成果

## 当期の業績（損益）

- 原燃料価格の高騰等 
- 販売価格適正化の進捗 
- 円安の進行等 



増益



# 当期の業績について

## 連結損益計算書（単位：億円）

### 連結売上高

9,305

10,663

前期比

14.6% ↑

前期

当期

### 連結営業利益

114

154

前期比

35.1% ↑

前期

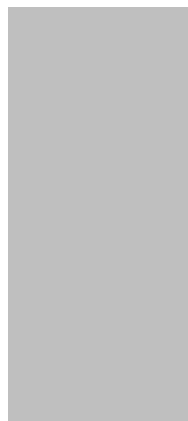
当期

# 当期の業績について

## 連結損益計算書（単位：億円）

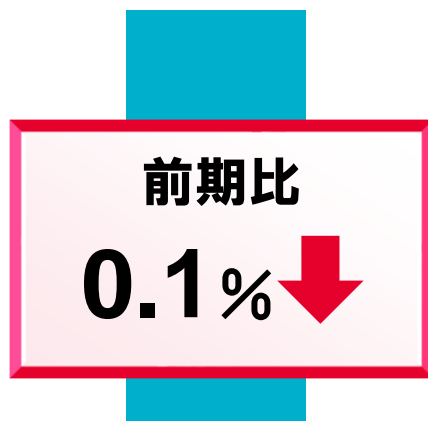
### 連結経常利益

197



前期

196



当期

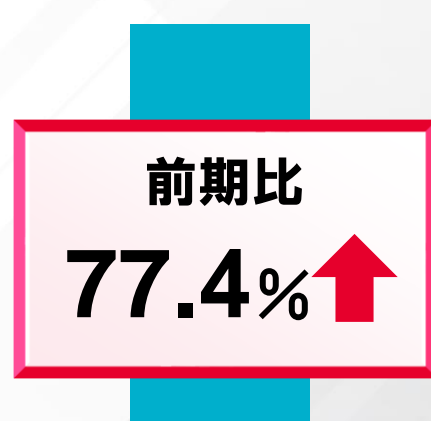
### 親会社株主に帰属する当期純利益

101



前期

179



当期

# 連結および単体の 貸借対照表および損益計算書

招集ご通知55ページ～58ページに記載のとおり

# 連結および単体の 株主資本等変動計算書および注記表

当社ウェブサイトに掲載

# 対処すべき課題

# 対処すべき課題

## 当社グループ

### 基本理念

世紀を超えて培ってきた素材力を核として、絶え間ない技術革新により、真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

持続可能な開発目標  
(SDGs)

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

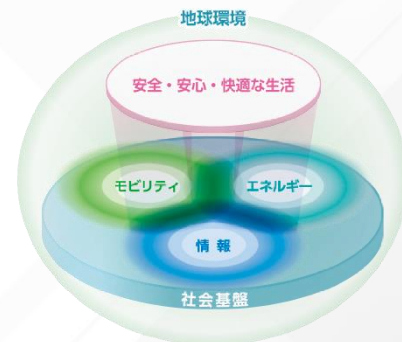
古河電工グループ ビジョン2030



# 対処すべき課題

## 古河電工グループ ビジョン2030

- 情報、エネルギー、モビリティの各領域およびこれらの融合領域
- これまでにない新たな事業の創出



古河電工グループ ビジョン2030

# 社会課題の解決を目指す

# 対処すべき課題

## 経営上の重要課題

### 収益機会のマテリアリティ

- 1** 社会課題解決型事業の創出  
- 次世代インフラを支える事業の創出  
- 環境配慮事業の創出
- 2** Open, Agile, Innovative
- 3** 多様なステークホルダーとのパートナーシップの形成

### リスクのマテリアリティ

- E** 気候変動に配慮したビジネス活動の展開
- S** 人材・組織実行力の強化
- G** リスク管理強化に向けたガバナンス体制の構築
  - コーポレートガバナンス
  - グループガバナンス
  - サプライチェーンマネジメント
  - 人権・労働慣行

# ビジョン2030・SDGsの達成

# 対処すべき課題

## 中期経営計画「Road to Vision2030—変革と挑戦—」





# 対処すべき課題

## 中期経営計画

- 長期化するロシア・ウクライナ情勢
- 世界経済の減速
  - ▶ 当社を取り巻く経営環境は変化



**着実な収益の拡大を図る**

# 対処すべき課題

## 中期経営計画

- ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化
- ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備
- ③ ESG経営の基盤強化

# 対処すべき課題

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

- 収益性・成長性等の観点から事業の位置付けを可視化
- 投資配分の最適化を推進
- 事業ポートフォリオの見直し



**経営管理と意思決定を一層加速**

# 対処すべき課題

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

- 高付加価値製品の比率の向上
- 付加価値に見合った製品価格の適正化



収益の改善・拡大を図る

# 対処すべき課題

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

### 電力ケーブルシステム

- 製造能力や工事施工能力の増強等
- 国内での電力網強靱化や再生可能エネルギー向けの海底線・地中線をターゲット



**事業基盤を確立し、収益成長を図る**

# 対処すべき課題

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

EV化の加速に伴う自動車の  
軽量化ニーズの高まり

- アルミワイヤハーネスの  
優位性を活かす



事業拡大と収益性向上

# 対処すべき課題

## ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- 4つのコア技術を活用  
「メタル」「ポリマー」  
「フォトリソ」「高周波」



新たな社会課題解決型事業創出の  
基盤整備を図る

# 対処すべき課題

## ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

### フォトリクス技術・高周波技術

- 高機能なフォトリクス製品開発力
- 光通信市場への幅広い対応力



オール光ネットワークと高効率エネルギー社会の実現に貢献



# 対処すべき課題

## ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

# 2050年カーボンニュートラルの実現

## ■ グリーンLPガスの開発・製造





# 対処すべき課題

## ③ ESG経営の基盤強化

- 特定したマテリアリティごとに  
2025年度の目指す姿を設定
    - ▶ 実現する施策を策定
    - ▶ 進捗を測定する
- サステナビリティ指標・目標値を設定



# ESG経営の基盤を強化

## ③ ESG経営の基盤強化

### ■ 気候変動に配慮したビジネス活動を展開

「自社のCO<sub>2</sub>を出さない・減らす」  
「社会のCO<sub>2</sub>を出さない・減らす」  
「排出されたCO<sub>2</sub>を溜める・変える」

カーボンニュートラル実現への取組みを加速

# 対処すべき課題

## ③ ESG経営の基盤強化

「多様な人材を確保し、  
挑戦し続ける人の成長を支援する」

「全員が主役で誇りを持ちワクワク  
働ける企業グループを目指す」

「チームで徹底的に  
やり切る文化を醸成する」

### 〈古河電工グループPeople Vision〉

古河電工グループにとって、  
人は最も重要な資産である。

一人一人の成長が、  
古河電工グループの持続的な  
成功の原動力である。



「人材・組織実行力」の強化に取り組む

## ③ ESG経営の基盤強化

### 人権マネジメント

#### ■ 国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」

- ・人権方針の策定
- ・人権デューディリジェンスの実施
- ・救済メカニズムの構築

企業の取り組むべき3つの要件に基づき推進

# 対処すべき課題

## 中期経営計画

### ■ 2025年度

財務目標値  
サステナビリティ目標値

達成を図る

# 対処すべき課題

## 当社グループ

各種施策の着実な実行

企業価値の向上を図る